

# 岐阜県 マンツーマンコミッショナー 運用マニュアル

## (1) 目的

岐阜県大会や各地区大会、各市郡大会を通し、マンツーマンの推進を根底においたコミッショナー活動することによって、マンツーマンに対する理解を推進し、マンツーマンの指導ができる指導者の育成をめざす。

## (2) 試合前

- ① 試合開始5～10分前までにコミッショナー席に座り、赤旗・黄旗・チェックシート・筆記用具の確認をする。(コミッショナー席がない場合は、指定された場所に立って待機)
- ② 担当する審判・T0・各チームのベンチにあいさつをし、コミュニケーションをとる。(コロナウイルス感染防止策のため、当面はあいさつはなし)

## (3) 試合中

- ① プレー中は、基準規則に従って、適切なマンツーマンディフェンスが行われているかを見極める。  
※参照資料 (MCを行う前には必ず目を通してください。また、指導の際の参考にしてください)  
基準規則：[http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/mandf\\_Regulation\\_20190317.pdf](http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/mandf_Regulation_20190317.pdf)  
赤旗対応：[http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/U15mandf\\_redflag\\_20190715-02.pdf](http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/U15mandf_redflag_20190715-02.pdf)  
育成資料：[http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/U15mandf\\_Leaflet\\_20180401.pdf](http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/U15mandf_Leaflet_20180401.pdf)
- ② 違反行為があった場合、該当するベンチ側へ移動し、黄旗を上げて、コーチや選手の対応を促す。その際に、ベンチとコミュニケーションが取れるなら積極的にコミュニケーションを取る。  
(違反行為とは、一回の現象をさすものではなく、継続して行われている行為となるため、気になる行為を確認したら、戦術的に行われているのかを確認する。また、技術不足による違反行為の場合も、改善を促し、改善されないことでオフェンスの不利益が生じる場合は違反行為と認定する。)
- ③ 黄旗が上がったプレイヤーのディフェンスが改善された場合は、黄旗を降ろす。また、攻守が交代した場合も黄旗を降ろす。
- ④ 黄旗が上がった違反について、改善が確認できない状態でタイムアウトやインターバル、ハーフタイムに入った場合、該当するチームのコーチに違反内容を伝達して、注意を促す。
- ⑤ ベンチとコミュニケーションをとった上で、黄旗が上がったプレイヤーのディフェンスが改善されない場合(約5秒間を目安とする)は、赤旗を上げて警告する。また、何度も黄旗を上げて改善がされない場合も、同じ現象を確認したら赤旗を上げる。
- ⑥ 赤旗が上がった状態で、ボールのコントロールが変わったときは、コミッショナーはブザーを鳴らし、タイマーはゲームを止める。この時コミッショナーは赤旗を上げ続けておく。審判に両チームのコーチをT0前に集めてもらい、違反内容を簡潔に説明する。コーチから当該選手へ説明が必要な場合は、当該選手またはチームをT0席前に招き、コーチが簡潔に説明する。この時、戦術的な指示になっていないかなどを確認する。
- ⑦ 2回目の警告があった場合は、審判より当該チームにマンツーマンペナルティが宣せられる。スコアシートには、コーチの個人ファウル欄に「M」と記し、相手チームのコーチが指名した選手に1個のフリースローが与えられ、試合は再び止められた際の状態から再開(ボールを保持していたチームのスローイン)する。
- ⑧ コーチに1個マンツーマンペナルティが記録されたチームに再び赤旗が上がった場合、コーチに2個目のマンツーマンペナルティが記録され、コーチは失格退場処分となる。失格退場したコーチはコートの見えないところで運営部が管理する。

- ⑨警告とタイムアウトが重なった場合、警告を先に行う。また、マンツーマンペナルティのフリースローはタイムアウト後に行う。
- ⑩第4Q残り2分をきった場合の違反や、意図的なゾーンディフェンス、区域外以外のオフボールトラップ、ゾーンプレスが行われた場合、即座に赤旗を上げてマンツーマンペナルティを宣せられる。
- ⑪一人で業務にあたる場合は、チェックシートはインターバルやハーフタイム、タイムアウト中に記入する。チェックは警告の回数を記入する。
- ⑫相手チームのディフェンスにベンチからアピールがあっても対応しない。コーチの暴言にあたる行為はテクニカルファウルの対象となり、審判が対応する。
- ⑬違反に対する質問には簡潔に答える。説明はコーチのみの行い、選手に直接説明や指導は行わない。

#### (4) 試合後

- ①チェックシートの記入と最終確認を行い、チェックシートを本部に提出する。